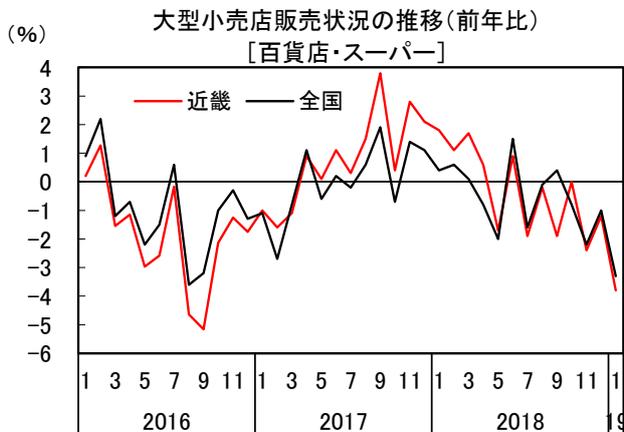
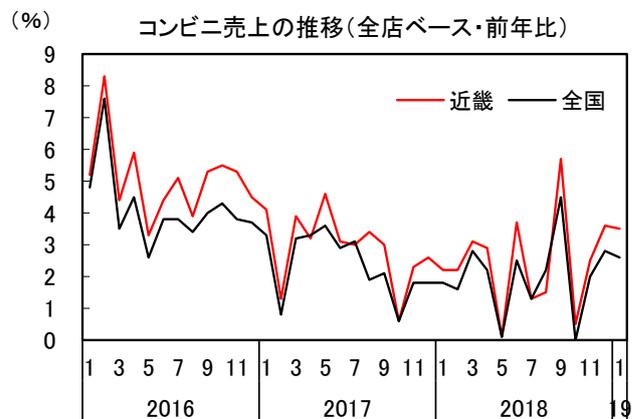


関西の景気トピックス【消費関連（19年1月）】

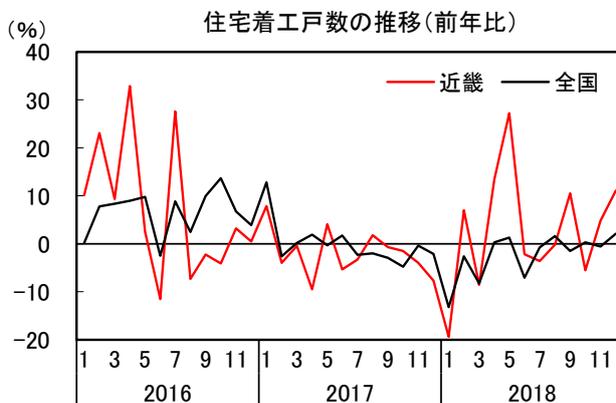
- 19年1月の大型小売店販売状況（経済産業省）は前年比マイナス3.8%と7か月連続の減少となっている。中国のEC法による影響で訪日客の免税売上が落ち込んだほか、暖冬の影響で冬物商材の販売が伸びなかったことも要因とみられる。（業態別には、百貨店がマイナス3.8%、スーパーがマイナス3.8%）。
- コンビニ売上（経済産業省）の1月は全店ベースで前年比プラス3.5%と、堅調な推移となっている。
- 住宅着工戸数の（国土交通省）12月は、前年比プラス11.1%と2か月連続の増加となった。持家、貸家、分譲のすべてで前年を上回り、分譲、持家は前年比で2けた増となっている。
- 毎月勤労統計調査（厚生労働省）でみた賃金動向については、大阪（11月）は直近で前年を下回る動きとなっていることから、今後の推移には注意が必要とみられる。



(出所)経済産業省「大型小売店販売状況」



(出所)経済産業省



(出所)国土交通省「建築着工統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」